

不動産業業況等調査（2019年10月）^{*1}

● 現在の経営状況^{*2}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	10.3 p	2.7 p ↗
不動産流通業（住宅地）	△ 6.3 p	6.6 p ↗
ビル賃貸業	38.5 p	3.7 p ↗

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	△ 1.5 p	△ 6.0 p ↘
不動産流通業（住宅地）	△ 8.0 p	3.2 p ↗
ビル賃貸業	△ 1.9 p	0.3 p ↗

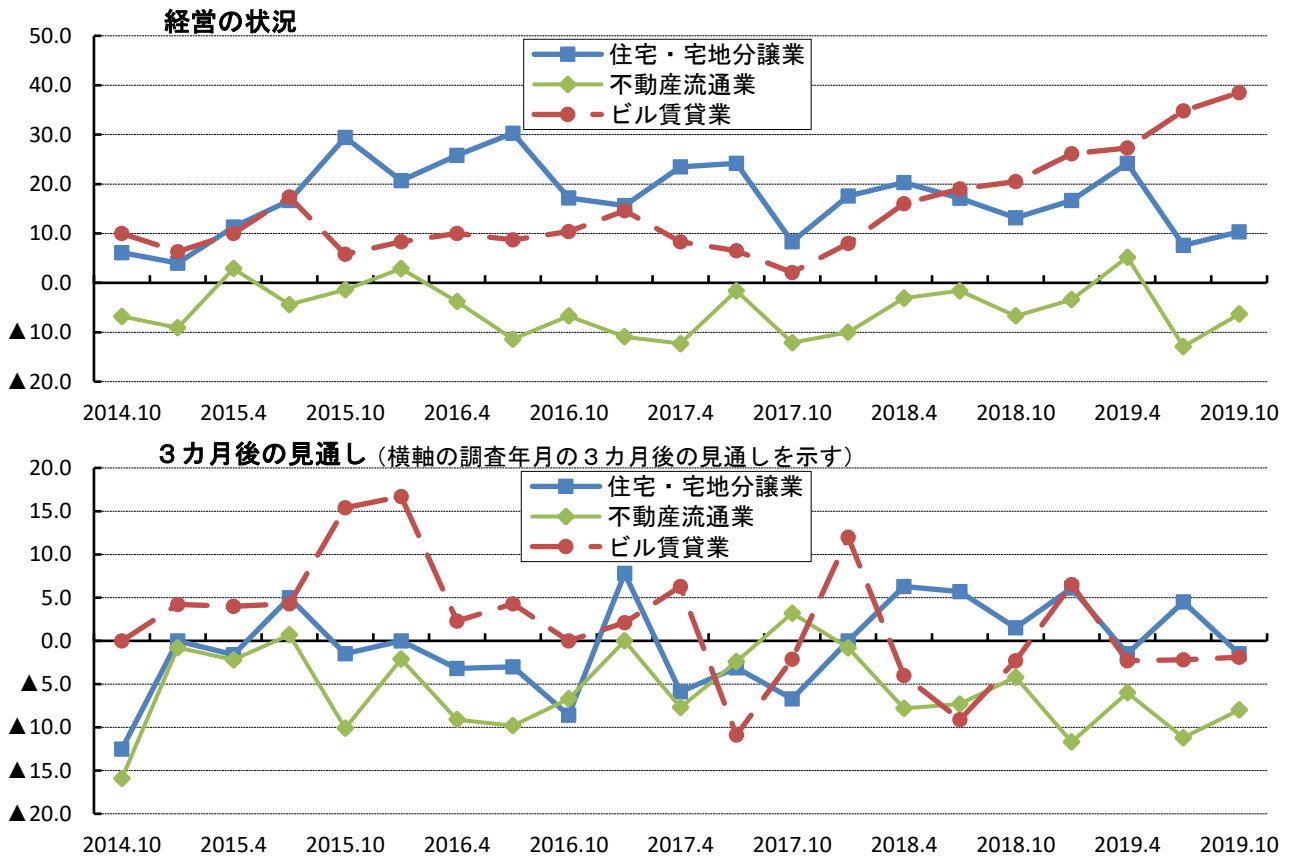
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から2.7p改善し10.3p。27期連続のプラス水準。
 不動産流通業は前回から6.6p改善し-6.3p。2期連続のマイナス水準。
 ビル賃貸業は前回から3.7p改善し38.5p。22期連続でのプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、不動産流通業およびビル賃貸業で改善、住宅・宅地分譲業で悪化。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

*3 3ヶ月後の見通し = $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$
 （調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」